

# 都草講演会 京都学・歴彩館府民協働連続講座

主催 NPO 法人 京都観光文化を考える会・都草

共催 京都府立京都学・歴彩館

日時 2026年6月14日(日曜日)

午後2時～午後4時(午後1時15分開場予定)

場所 京都府立京都学・歴彩館 大ホール  
(先着400名様)(京都市左京区下鴨半木町1-29)

資料代:500円(当日支払い)

事前申し込み制・座席自由



皇太子明宮・  
病氣平癒祈願の焰摩天図(泉涌寺提供)

## タイムスケジュール

【第一部】午後2時～3時

明治維新と宮中における宗教の変容

【第二部】午後3時10分～4時

近代の泉涌寺に見る皇室の仏教信仰

<講師> 高木博志氏

今日、皇室と宗教の関係について、大嘗祭や伊勢神宮への行幸など、  
神道のみを思い浮かべる。

それは明治4年(1871)の皇室の神仏分離により、お黒戸(仏間)が京都御所から  
泉涌寺に移され、近世の歴代天皇の仏式の墓が神道で読み替えられ、門跡寺院や  
後七日御修法が廃されたことによる。

しかし明治から昭和期まで、英照皇后・貞明皇后・皇族・女官などは、  
東京の皇居においても仏教への信仰が篤かった。

新しい視点で、近代皇室と宗教の関係を考えたい。

なお2026年は、泉涌寺の開山月輪大師(俊苧律師)八百年御遠忌にあたる。

近世の天皇陵拝所前(泉涌寺提供)



<プロフィール> 高木博志氏 — 日本近現代の文化史 —

1959年大阪府吹田市生まれ。立命館大学院修了。

北海道大学文学部をへて、京都大学人文科学研究所教授、現在京都大学名誉教授。

古都京都・奈良が、いかに日本古代の起原や「日本文化」の象徴として創り出されてきたかを  
研究している。著書に、『近代天皇制と伝統文化—その再構築と創造』(岩波書店)、

『近代京都と文化』(思文閣出版)、『京都の歴史を歩く』(岩波新書)など。



泉涌寺大門より(泉涌寺提供)

皇室の  
仏教信仰の  
ゆくえ

明治維新と泉涌寺

## \* 申し込み方法 \*

募集期間：4月8日(水)～6月12日(金)

募集人員：先着400名様

1. 都草ホームページ上段「募集案内」の「都草講演会」からお申し込みください。

<https://www.miyakogusa.com>

2. E-mailの場合 [info@miyakogusa.com](mailto:info@miyakogusa.com)

3. Faxの場合 075-451-8146

- ・「件名」に「都草講演会」と明記
- ・参加者氏名(ふりがな)と連絡先電話番号
- ・複数申し込みは可能ですが、代表者の連絡先電話番号と参加者全員の氏名をご記入ください。

\* 電話での受付はいたしていません。

\* 定員に達しない場合には当日ご入場いただけます。



- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため募集人員が変更されることがあります。予め、ご了承ください。
- 当日会場にてお名前を承ります。
- 録画・録音・写真撮影は固くお断りします。

## \* 場所 京都府立京都学・歴史館 \*



### 【電車でお越しの方】

- 京都市営地下鉄(烏丸線)北山駅 [K03]  
一番出口から南へ徒歩約4分  
\* 車椅子の方は、北山駅3番出口のエレベーター

### 【バスでお越しの方】

- 北山駅前  
(京都市バス4・北8系統)  
南へ徒歩約4分
- 府立大学前  
(京都市バス1・204・205・206・北8系統)  
(京都バス32・34・35・45・46系統)  
北へ徒歩約6分



## \* NPO法人 京都観光文化を考える会・都草 \*

### ともに京都を学び・語り・遊ぶ

「都草」は平成16年に始まった京都・観光文化検定試験(京都商工会議主催)で「京都通」と認定された人々をはじめ、京都の歴史・観光・文化を学ぼうとする人々の集まりです。京都の観光・文化の振興と啓蒙に関する事業を行い、京都の活性化と豊かな地域社会の実現に寄与することを目的としています。



〒602-8570 京都府京都市上京区下立売通新町西入ル京都府庁旧本館2階・旧書記官室

Tel/Fax: 075-451-8146

<https://www.miyakogusa.com/>